

# 小児喘息・アレルギー性疾患発症に関する疫学研究についての情報公開

子どもの健康を守るためには、集団における病気の頻度を調べ、その原因を解明し、予防・治療の観点から健康政策に還元することが必要になります。京都大学薬剤疫学分野では、神戸市と連携し、神戸市が実施する母子健診事業の情報を活用して、以下の疫学研究を行っています。この疫学研究は、厚生労働省の疫学研究に関する倫理指針を遵守しており、京都大学の倫理審査を受けています（承認番号R1326）。研究に用いられる健診情報は匿名化され、市民の皆様の個人情報（お名前など）が、神戸市から京都大学に提供されることはありません。ただし、研究結果は、母子健診事業をより良くするための行政資料に用いられたり、学会や学術雑誌に発表されたりする事があります。市民の皆様のご理解をお願い申し上げます。

## 【研究課題名】

神戸市母子保健データを用いた小児喘息・アレルギー性疾患発症に関する疫学研究

## 【研究期間】

2018年3月から3年間（研究終了後は適切にデータ破棄します）

## 【対象者】

2004年4月1日～2013年3月31日までに神戸市に出生した子ども

## 【内容】

本研究では、小児喘息、アトピー性皮膚炎、アレルギー性鼻炎の有症率を記述し、胎児期環境や出生状況との関連を調べます。

## 【研究代表者】

京都大学大学院医学研究科 社会健康医学系専攻  
薬剤疫学分野 川上浩司

## 連絡先

〒606-8501 京都市左京区吉田近衛町（担当：吉田）

Email: [info@pe.sph.med.kyoto-u.ac.jp](mailto:info@pe.sph.med.kyoto-u.ac.jp)

TEL: 075-753-9469

FAX: 075-753-4469

（2018年3月13日HP公開）

